

慶應義塾大学医学部が行う東京都在住の 85 歳以上の高齢者研究 「長寿社会における高齢者の暮らし方に関する学術調査」にご参 加いただいた方へ、研究期間の延長に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 百寿総合研究センター 職名 教授

氏名 新井 康通

連絡先電話番号 0352692468

実務責任者 所属 百寿総合研究センター

職名 講師

氏名 色本 涼

連絡先電話番号 0352692468

このたび当院では、【長寿社会における高齢者の暮らし方に関する学術調査】の研究にご参加された東京都在住の 85 歳以上の高齢者の皆様へ、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、研究期間を延長して研究を継続させていただきます。

このたび、当センターでは、上記の研究にご協力をいただいた百寿者、超百寿者の皆様の食事アンケートのデータを活用し、食事摂取と健康長寿の関連を検証する国際共同研究を実施します。

倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、研究参加者の皆様への新たな負担は一切ありません。また研究参加者の皆様のプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

西暦 2008 年 3 月 1 日より 2015 年 3 月 31 日までの間に、慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター（2014 年 4 月 1 日以前は老年内科）が行った「長寿社会における高齢者の暮らし方に関する学術調査」にご参加をいただいた方。ご提供いただいた血液・唾液、尿サンプルやアンケート調査の解析を、2027 年 3 月 31 日まで研究期間を延長して行うことを計画しております。

2 研究課題名

承認番号 20070047

研究課題名 【長寿社会における高齢者の暮らし方に関する学術調査】

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター

既存試料・情報の提供機関提供者 (責任者)

米国ノースカロライナ州 メタボロン社 (Metabolon) John Ryals, PhD

住所 617 Davis Dr Suite 400, Morrisville, NC 27560, 米国

スウェーデン ウプサラ OlinkProteomics 社 Narges Rashidi

住所 Dag Hammarskjölds väg 52A, 752 37 Uppsala, スウェーデン

米国コロラド州 SOMALogics 社 Alister (Al) W. Reynolds

住所 2945 Wilderness Pl., Boulder, CO 80301 USA

共同研究機関研究責任者

Faculty of Medicine and Health,

University of New South Wales

Perminder Sachdev (教授)

4 本研究の意義、目的、方法

細胞の働きによって生じる数百以上の代謝物質やタンパク質はメタボロームやプロテオームといい、これらを網羅的に測定する方法をメタボローム解析・プロテオーム解析と呼んでいます。この方法を用いて、血液（血漿成分）を分析すると、生活習慣と遺伝子の双方の影響によって生じた体内の細胞の働きの変化を鋭敏に捉えることができます。メタボロームやプロテオームはその人の送る生活によって日々変化するので、現在の健康状態を詳細に評価することができるからです。現時点ではまだ研究段階ですが、加齢や健康、疾病罹患に関わるメタボロームやプロテオームを解析することにより、老化に伴う心身機能や QOL（生活の質）の低下を予防するための生活習慣の改善を提案したり、その効果を評価することに役立つ可能性があります。米国ノースカロライナ州にあるメタボロン社はメタボローム解析の分野では世界でトップ・クラスの業績を上げている検査会社で、これまでに 5,000 以上のプロジェクトにおいてメタボローム解析を受注しています。また、スウェーデンのウプサラにある OlinkProteomics 社、米国コロラド州の SOMALogics 社は共に血液プロテオーム解析の分野では世界でトップ・クラスの業績を上げている検査会社で、これまでに多くのプロジェクトにおいてプロテオーム解析を受注しています。私たちはこのたび、メタボロン社や OlinkProteomics 社、SOMALogics 社と守秘義務契約を締結したうえで、血液（血漿成分のみ）を提供し、メタボローム解析およびプロテオーム解析を行い、長寿や認知機能などの健康指標との関係を検証する研究に取り組むこととなりました。

食事摂取と健康長寿の関連についての国際共同研究：食事摂取と健康長寿の関連について世界的な関心が高まっています。今回、百寿者の皆様からご回答いただいた食事摂取についてのアンケート調査結果を、オーストラリアのニューサウスウェールズ大学 Perminder Sachdev 教授と共有し、食品や栄養摂取と認知機能、日常生活機能、余命との関連を検証する国際共同研究を行います。これによって、国や人種を超えて健康長寿にはたらく栄養素や食習慣があるのか解明します。

5 協力をお願いする内容

この研究では皆様からすでに採取させていただいた血液のうちの血漿成分のみの解析を行いますので、今回改めてご協力をお願いすることはありません。皆様からいただいた血液から血漿成分を分

離し、メタボロン社、OlinkProteomics 社および SOMALogics 社へ提供し、メタボローム解析やプロテオーム解析を行います。その結果を認知機能などの高齢者の健康指標との関連性を検証します。血漿成分の解析を行う際には、氏名、生年月日、住所、電話番号などはすべて削除し、番号管理（匿名化と言います）した上で行います。

参加者の方々からすでにご提供いただいたアンケート結果を用いて、他国のデータと一緒に解析を行います（メタ解析）。今回改めて皆様にご協力をお願いすることはありません。

6 本研究の実施期間

西暦 2018 年 3 月 10 日（研究実施許可日）～2027 年 3 月 31 日

7 プライバシーの保護について

本研究では研究にご参加いただいた 85 歳以上の方の氏名、生年月日、住所、電話番号などは一切取り扱いません。

本研究で取り扱う 85 歳以上の方の血漿メタボローム解析情報およびプロテオーム解析情報は、氏名、生年月日、住所、電話番号などはすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。

85 歳以上の方の氏名、生年月日、住所、電話番号などと、匿名化した血漿メタボローム・プロテオーム／遺伝子解析情報を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。

なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、血漿成分のメタボロン社、OlinkProteomics 社もしくは SOMALogics 社への提供の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へお電話、ファックス、E メールにてご連絡をお願いいたします。

慶應義塾大学医学部百寿総合研究センター 新井康通

03-5269-2468（直通電話およびファックス）

E メールアドレス yasumich@keio.jp

*お電話は月曜～金曜の午前 10 時から午後 5 時をお願いいたします。

以上